

清水保育所 「ミニあらぎ島」で田植え体験

道の駅 あらぎの里の前にある小さな棚田「ミニあらぎ島」。6月2日（火）に、清水保育所年長組の園児3人が田植えを行いました。田の泥に足をとられながらも一生懸命田植えをする姿が印象的でした。

秋には稲刈りも予定しています。皆さまも子どもたちと稲が元気に育つように見守ってあげてください。



マスク ・フェイスシールドを 寄贈しました

新型コロナウイルス感染防止と重症化の予防を目的として、中央コンピューターサービス株式会社様からマスク 2000 枚、第一生命保険株式会社 和歌山支社様からサージカルマスク 300 枚（写真）、株式会社モンベル様からフェイスシールド 100 枚を寄贈しました。誠にありがとうございました。



おわびと訂正：6月号（174号）2頁の「まちのわだい「マスク・消毒液を寄贈しました」の記事において、寄贈しました団体の1つとして「訪問介護ステーションひかり様」と記載しましたが、正しくは「訪問看護ステーションひかり様」です。ここに訂正し、おわび申し上げます。

町公式ホームページが全国広報コンクール読売新聞社賞を受賞 広報ありだがわは広報紙部門で佳作を受賞

公益社団法人 日本広報協会が実施する令和2年全国広報コンクールで、有田川町公式ホームページが「読売新聞社賞」を受賞、ウェブサイト（町村部）部門で「入選」を受賞しました。また、広報ありだがわ（令和元年）9月号が広報紙（町村部）部門で「佳作」を受賞しました。今年の応募作品数は464点で、有田川町がウェブサイト部門、広報紙部門で受賞するのは初めてとなります。

【ウェブサイト部門 審査員のコメント】

総合トップページ、柔らかな緑の大地のようにし、大きな空間を感じるところが良い。コンテンツを見つけやすく、シンプルでわかりやすい。SNSが活発なことも高評価。

【広報紙部門 審査員のコメント】

「防災力は想像力」という特集テーマのワーディングでまず惹きつける。「知識編」「もの編」「行動編」等、上手に情報をまとめた編集で住民に分かり易く訴求している。